

葛飾区まちづくりシンポジウム

地域が元気になるまちづくり

－ 様々な取組みを探る －

開催報告

平成30年3月25日（日）、健康プラザかつしか3階大ホールにおいて、「地域が元気になるまちづくり」を区民の方々とともに考えることを目的に、「葛飾区まちづくりシンポジウム」を開催しました。

基調講演や、まちづくりに取り組まれている区民の方をお招きしたパネルディスカッションなどを実施するとともに、「葛飾区都市計画マスタープラン」に基づくまちづくりの進捗状況について報告を行いました。

当日は、83名の方々にご参加いただきました。

【プログラム】

- 1 あいさつ
青木克徳／葛飾区長
- 2 基調講演「地域が元気になるまちづくり」
饗庭 伸／首都大学東京 都市環境学部教授
- 3 都市計画マスタープランの進捗状況報告
- 4 パネルディスカッション
- 5 閉会

1 あいさつ 青木克徳／葛飾区長

開会にあたり、区長があいさつをしました。



会場の様子



青木区長

2 基調講演 「地域が元気になるまちづくり」

饗庭 伸／首都大学東京 都市環境学部教授

首都大学東京の饗庭先生より、「地域が元気になるまちづくり」をテーマに基調講演をいただきました。

<基調講演の概要>

全体を通して、人口減少社会の到来を見据えて、次の3つの項目について、お話しいただきました。

- 1 まちについて
- 2 人口について
- 3 まちづくりについて

「1 まちについて」では、人口が増加するときは、家や都市（道路・公園等）、まちをつくるのが人々の人生そのものであったが、これからは人口が減り、住宅が減り始める時代になるため、人生をかけて都市をつくらなくても良くなる。つまり、「まちづくり」から既にある道路や公園、建物を使いこなしていく「まちづかい」に変わるのではないかと示唆されました。

次に、「2 人口について」では、区内地域の世代別人口推移を事例として取り上げ、まちを使う主役である「人」についてお話がありました。世代別人口推移から、地域にどういふ世代の人が住み、その人が5年後、10年後に何を必要とし、何をやっていけば良いのかを考えることが「まちづくり」「まちづかい」には、大事であることを示されました。

最後に、「3 まちづくりについて」では、葛飾のまちもこれから先は、人口や世帯が減り、空き家や空き地が少しずつ発生する「まちのスポンジ化」が起き、こうした空き家や空き地を上手く使っていくことが大事になることを示唆されました。また、空き地を公園に、空き家を地域の拠点として活用した事例を挙げ、税金や民間のお金をほとんど使わずに、「人のつながり」と「余った土地や建物」を使った「まちづかい」を紹介いただきました。



饗庭先生



空き家を公園として活用した事例
(日野市)



空き家を地域の交流拠点として活用した事例
(国立市)

3 都市計画マスタープランの進捗状況報告について

都市整備部調整課

平成27年1月のまちづくりシンポジウムから3年が経過したことを受け、概ね平成26年度から平成28年度までの都市計画マスタープランの進捗状況を報告しました。

4 パネルディスカッション

明治大学大学院特任教授の中林先生にコーディネーターを務めていただき、「地域が元気になるまちづくり」をテーマとしてパネルディスカッションを行いました。

□コーディネーター

中林 一樹 氏 明治大学大学院政治経済学研究科特任教授

□パネリスト

饗庭 伸 氏 首都大学東京 都市環境学部教授

石川 宏太 氏 特定非営利活動法人 柴又まちなみ協議会 理事長

松村 聡 氏 堀切地区まちづくり推進協議会 事務局

目黒 朋子 葛飾区都市整備部調整課街づくり計画担当課長



中林先生



石川氏

パネルディスカッションでは、最初に、石川氏から柴又まちなみ協議会の取組み、松村氏から堀切地区まちづくり推進協議会の取組みについてご紹介をいただきました。

続いて、中林先生から「これから地域をもっと元気にしていく、もっと楽しくしていくためにはどのような取組みが必要か」というご質問がありました。

石川氏からは、引き続き、3つのスローガン「変えない開発」「一店一品主義」「おもてなし」を掲げ、柴又の発展に取り組んでいきたいというお話がありました。

松村氏からは、区民と行政と専門家の3者協働のまちづくりをさらに推進していくために、できる限り多くの方に活動に興味を持って参加頂いて、意見を出して頂けるよう、自分たちの活動を、より一層PRしていきたいとのお話がありました。

饗庭先生からは、観光地・商店街である柴又について、空き店舗が出た場合に備えて、良い事業者を探して連れてくることのできるような体制づくりを考えておくといい、また、住宅地である堀切について、多くの方に興味を持ってもらうために、人の目につくところで会議やワークショップをしたらどうか、とのお話がありました。

最後に中林先生から、地域が元気になるまちづくりの実現には、“志ある人がいること（まちづくりの心となる人）”“仲間を広げていくこと”“可能な範囲で行政が地域の活動を支えること”“専門家が様々な形で地域の活動を支え、関わっていくこと”の4点が重要となるというまとめのお話をいただきました。



松村氏

お問い合わせ先：葛飾区都市整備部 調整課街づくり計画担当係 大谷
電話：03-5654-8382 FAX：03-3697-1660